

文化情報誌

Passion

・ パッション

特集「まちおこし」



輝くひと 子どものつくる子どものまち

子ども四日市
プロジェクトリーダー
小林 渚

FLASH 四日市素材で多彩なパン

パン屋Re: (ロキ) 店長
加藤 大裕

誌名の『パッション』は
燃えるような“情熱”の意味です。

次代につなぐ現代陶芸「パラミタ陶芸大賞展」

公益財団法人岡田文化財団（パラミタミュージアム内）事務局長

望月 俊二



パラミタミュージアムは自然豊かな鈴鹿山脈を背景に、2003年3月菰野町に開館した美術館です。先月8月10日には開館23年目にして入館者数が100万人に到達しました。

当館では常設展のほか、様々なジャンルの企画展を年間7本程度開催しています。この中の一つに「パラミタ陶芸大賞展（以下、本展）」があります。本展は2006年から毎年開催（※コロナにより2020年は延期）し、今年20回という節目を迎えるこ

とが出来ました。《時代を代表する陶芸家とその作品を後世に残すこと》を目的に設立された本展は、一般公募形式ではなく、出品作家の選考は全国約300件の陶芸に精通する方々に推薦を依頼し、その結果により上位を決定、そして大賞受賞者は来館者の投票によって決定しています。

この作家選出・大賞受賞者の決定方法は、第1回展より変わっておらず、名誉館長・小嶋千鶴子（1916-2022）は本展設立に際し、次のような言葉を残しています。「いわゆる新人発掘でも重鎮作家の表彰でもない、知られるべき作家なのに…（中略）そうした作家に光を当てたいという思いから新たに作りしました」。

この言葉が示すように、ノミネート作家の年代は幅広く、陶芸界ですでにその名が知れ渡っている気鋭の実力者ばかりです。特に近年は海外で活躍する作家も多いように感じます。器やオブジェなど表現方法は様々ですが、各作家の個性が発揮された会場には見事な調和が生まれ、毎年のことながら圧倒されます。変化する陶芸の最前線を一堂に観ることが出来る、これこそが本展の醍醐味です。

これまで過去125名の作家に出品頂き、良き出会いに恵まれました。陶芸の産地に関わらず、全国には素晴らしい陶芸家が活動しています。今後も、現代陶芸の魅力をより多くの方々に知ってもらい、優れた作家と作品を次代につなぐため、本展を続けてまいります。





表紙写真 水沢地区 もみじ谷
写真提供 四日市市

今号の特集は「まちおこし」と題して、伝統の踊りの復興や、四日市素材を使用した水沢ワイン、まちおこしに結びつくデザインマンホールなどを取材しました。

一般社団法人 四日市市文化協会

〈事務局〉

〒510-0845 四日市市海山道町1丁目1532-1
四日市市三浜文化会館内

TEL・FAX 059-347-1023

メール ybk@yokkaichishibunkakyokai.com



メール



Facebook



Instagram

開局日時 日、月、水、木、金 13時～17時
(火、土、祝日及び三浜文化会館休館日は閉局)

ホームページ 四日市市文化協会 🔍 検索

Passion

79 2026
sep.

巻頭によせて

次代につなぐ現代陶芸「パラミタ陶芸大賞展」

(公財) 間田文化財団(パラミタミュージアム内) 事務局長 望月 俊二

特集 『まちおこし』

お茶畑を見渡すぶどう畑、水沢ワイン

(株) i-kyo『ドメーヌ ファイアーージュ』…………… 2

デザインマンホールがつなぐ、まちへの思い…………… 4

もう一度、富田音頭 西川流日本舞踊 里寿会…………… 5

Sparkling Personality 輝くひと

こどもがつくるこどものまち プロジェクトリーダー 小川 渚…………… 6

FLASH 四日市素材で多彩なパン Roki(ロキ)パン屋 加藤 大裕…………… 8

Voice 聞かせて!あなたの声 土壁アーティスト 松木 一真…………… 9

四日市商店連合会のYouTube②

続・一番街はこうしてできた! 商店連合会会長、副会長が語る…………… 10

歴史随筆

しばし日本史むだばな誌④ 廣瀬 毅…………… 11

路傍の自然石考⑯

杖衝坂石碑の裏に埋もれた石 吉川 宗明…………… 12

(敬称略)

＜… パッションひろば …＞

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば 連句 寛延三年(1750)刊俳諧「武玉川」初編を読む…………… 13

令和7年度(一社)四日市市文化協会文化活動功労賞…………… 14

四日市アート展2026を終えて…………… 15

オーケストラとバレエの共響宴 くるみ割り人形(全二幕)…………… 16

第76回 四日市市民芸術文化祭…………… 17

この人を知る シネマ遊人代表 林 久登さん…………… 18

不易流行/理事長つづやき/編集後記…………… 20

特集 まちおこし

お茶畑を見渡すブドウ畑、 水沢ワイン。

(株)i-kyo『ドメーヌ フィアージュ』



猛 暑を記録した真夏のある日、水沢ブドウ農場のスタッフ達は除草やブドウの間引き、伸びたツルの剪定に勤しんでいました。

「いま間引いているブドウは、シラズワインの品種、シラー。光を好まないのので西向きのブドウを間引いています。逆にメルローやカベルネソーヴィニオンは光を当てた方が美味しいんですよ」

作業を担当する内山さんは、奈良でブドウを育てていた醸造家。この農場でリーダーを務める福中さん（元ワインインポーター）の人脈で、四日市にやって来たそう。他にもさまざまなブドウ産地を経験した人が、四日市水沢でワイン用のブドウ作りに挑んでいます。彼らが夢を共にするのが、(株)i-kyoの五十嵐和仁社長です。

離農で変わる畑の姿に胸を痛め

五十嵐社長は水沢生まれ。父の土建業を継ぎながら、並行してドメーヌ（栽培から醸造まで一貫生産するワイン生産者）に挑んでいます。きっかけは、

「水沢の茶畑が近年、荒れたりソーラー発電施設に置き換わっていく姿を見るのが悲しかったから」

茶葉を栽培するには、重たい力仕事や高額な重機が不可欠。収穫期になると、昼夜を問わず作業に追われます。そのため高齢化した

農家が続々と廃業を決心しているそう。

そんな離農する農家から農地を引き受けた五十嵐社長がブドウ畑に造成しはじめたのは、2023年のこと。広大な農地をブドウ用に改良し造成するのに、家業の土建業が力を発揮しました。また茶畑ではおなじみの送風扇風機。お茶づくりでは霜除けに使われますが、濡れるのを嫌う欧州産ブドウの防滴に役立っています。

水沢茶の畑は日当たりが良く、水はけも良く、寒冷。四日市でいち早く紅葉が色づく宮妻峡に面しています。そんな条件もワイン用ブドウ作りにフィットしました。

元茶畑から生まれる甘いブドウ

ブドウ棚と言えば、頭上に房がなる風景が思い浮かびますが、ワイン用では異なる模様。



広報の原さんが教えてくれました。

「ワイン用のブドウは、ビニール雨傘、レインカットの下に実がなるようにします。枝が低くなるよう誘引するんですよ」

ブドウの粒は秋に向けてだんだん色づきます。盛夏のこの日、色づき始めた1粒試食させてもらうと、酸っぱさと渋さが際立ちました。これはこれで、ピクルスにすると美味しいそう。秋には、糖度23度を超える「甘すぎに食べるには向いていないほど」のワイン用ブドウが完成します。

夢は「四日市をブドウの国に」

ブドウの収穫で、お茶のように刈り取り機があるのか聞いてみると「ない」そう。ブドウはすべて早朝に手作業で摘み取ります。搾汁や醸造も行うのが、ドメーヌ。醸造のために社長は一式の設備を揃えました。特にこだわって奮発した機材について聞いてみました。一つは熟した粒だけを選別し、小枝や花がらを取り除く振動選果台（さらに手作業での除去も行うそう）。もう一つはブドウ汁を



搾るのに圧搾し過ぎないバルーン式のプレス機。そうして搾ったブドウ汁（赤ワインの場合）は搾った後の皮も一緒に醸造タンクに詰め、適温で寝かせます。するとブドウの糖がアルコールに変わり、ワインの味へ。ブレンド作業を経て瓶詰めし完成です。

2023年に始まったブドウ作り。2025年に水沢ワインは初出荷となりました。作ったワインは醸造所の前に長机を並べて販売し、発売1週間で完売を記録しました。広報の原さんによると、

「今年はずっとワインの生産量が増加する見込みです。木が育っていますので」

昨年は11月30日が解禁日。今年の初出荷はインスタグラムで告知される予定です。

同社はブドウのポット栽培の魅力も発信中。苗を販売し、畑を持たない人でも実はブドウを栽培できることを伝えます。

お茶畑とブドウ畑が緑の市松模様を描くような水沢の新しい風景。この秋、宮妻峡へ紅葉狩りに出かけた際には、遠くからそっと眺めてみては。（レポート 中村智恵子）

株式会社 i i k y o .

住所 四日市市水沢町字中谷三〇〇六番地一四
（直売日のみ営業）

電話 〇五九一三三九一八八九九

直売日はインスタグラムで

公開中

@suzawa_wine





特集 まちおこし

デザインマンホールがつなぐ、 まちへの思い

現

在の四日市では、近鉄四日市駅前の円形デッキ「よんまるテラス」が完成し、

新たな街のシンボルとして注目を集めている。その足元に、四日市西ロータリークラブが創立55周年記念事業としてデザインマンホールを寄贈したと知り、ある暑い日の午後、同クラブ会長でありプラトンホテル社長の佐野さんを訪ねた。ホテル10階から見渡す四日市の街並みは、とても美しかった。

寄贈された7枚のマンホールは、市民に親しまれているにやうとうくと四日市を象徴するコンビナートのイラストを、一枚ずつ異なる背景色に書かれた「四日市西ロータリークラブ55周年」の文字が囲むデザインとなっている。駅前で円形デッキを見上げ、足元には色鮮やかなマンホールが並ぶ光景は、街歩きを楽しくしてくれるに違いない。

佐野さんによると、ロータリークラブは地域奉仕や地域活性化、そして世界的な社会貢献を理念として活動しているという。話を伺う中で、その理念は四日市で生まれ育った佐野さん自身の思いと重なっているように感じた。

佐野さんは四日市を心から愛し、この街を訪れる人にもその魅力を楽しんでもらいたいと願っている。そして、市民が誇りを持てる街、子どもたちが住み続けたいと思える街であってほしいと言う。その思いは、駅を降りた子どもたちが、七色のマンホールを探しな



がら笑顔で歩く姿を思い描く言葉にも表れていた。

「ほどよく都会で、ほどよく田舎」。佐野さんは、そんな四日市の暮らしやすさをもっと多くの人に知ってほしいと語る。

私は今回の取材を通して、まちおこしとは大きな事業だけで実現するものではなく、自分の街を好きだと思ふ気持ち、そしてその魅力を伝えたいという思いから始まるのだと感じた。その思いは人に伝わり、やがて街の景色を変えていく。7色のマンホールは、単なる記念品ではない。四日市への愛情と未来への希望が形になった、小さくても確かな「まちおこし」の種なのだと思う。

（レポート 伊藤順子）

もう一度、富田音頭

西川流日本舞踊 里寿会



里寿会ゆかたざらいのフィナーレを飾る富田音頭 (2026年7月)

昭

和46年頃、地元の人々が富田を尋ね歩き、まちに伝わる「富田音頭」を調べ上げて形にした。歌詞には富田浜海岸や十四川の桜、鯨船行事、一本松、焼き蛤といった富

田の象徴が歌い込まれている。かつては各町の盆踊りでこの富田音頭を踊っていたが、その光景も今は年に一度、納涼祭のみとなった。この富田音頭の普及に取り組んでいるのが、西川流日本舞踊「里寿会」で師範を務める西川千穂寿さんだ。母・西川里寿さんは自宅で富田音頭の制作風景を目の当たりにし、また里寿会立ち上げから数年後の昭和47年、富田音頭のレコード化に際してその振付を考えた。千穂寿さんにとっても幼少の頃から聞き馴染んだ大切な歌だ。夏、銭湯の縁台にカセットデッキが置かれ、青年団のお兄さんがスイッチをぼんと押す。すると自然に子供達の輪が生まれ、遊びの一環として踊りの稽古が始まる。今やコロナ禍で盆踊りは中止になり、富田音頭を盛り上げてくれた婦人会は解散した。踊り広めなければ、舞踊は途絶えてしまう。千穂寿さんの日本舞踊家としての使命感が富田音頭への想いに重なる。

7月19日にあさけプラザで開かれた里寿会の公演「ゆかたざらい」。千穂寿さんはそのフィナーレに富田音頭を選んだ。舞台上上がったのは里寿会や踊りを披露した子供達だけではない。婦人会で会長を務めた女性や次世代育成に奮闘する若い有志達など、沢山の人が舞台上上がってもらった。富田音頭の振りや場内を流れる歌で、客席にいる人々にも、かつての富田のまちの記憶がよみがえる。千穂寿さんの普及活動は着実に実を結んで

いる。この公演をきっかけに、盆踊りの復活に取り組む地元の人達とつながった。昔からのものは残そう、という流れに懐疑的な意見もあるなかで、共感してくれる人々の存在は千穂寿さんの不安な気持ちを和らげる。千穂寿さん自身、ただ思い入れがあるから富田音頭を残したいわけではない。富田の人々が集うきっかけに富田音頭が役買う、そう考えているからだ。そんな富田音頭の未来について、千穂寿さんはこう語った。

「生まれ育ったまちを離れても、そのまちの文化や伝統が心の中になれば、それを抛り所に、自信を持って歩んでいけるものです。富田音頭もそんな存在になればと願っています。それに富田のまちが富田音頭であふれたら素敵ですね。列車が到着すると駅のホームから富田音頭のメロディーが聞こえてくる……なんて未来を想像して楽しんでいます。」

(レポート 畑中純一)



「櫓のお七」を踊る千穂寿さん (2023年4月)

こどもがつくるこどものまち

こども四日市
プロジェクトリーダー 小林 渚

今年7月20日に四日市109シネマズにて「こども四日市ドキュメンタリー映画」が上映された。監督と編集をしたのが小林渚さん。上映の前には、こどもたち20人ほどの舞台挨拶があった。

たくさんの人が見に来てくれました

こども四日市とは

こどもが自分たちで街を作り、働き、商売をし、遊び、飲食をする。職業体験であり、遊びの場だ。2004年に子どもの本専門店メリーゴーランド店主、増田喜昭さんがスタートさせ、2010年から現プロジェクトリーダー小林渚さんに託された。コロナ禍で2年間中断したが、今に続いている。

さらに詳しく説明すると、こどもたちは、まず参加費500円を払って市民証と200ヨーをもらう。この「ヨー」がこども四日市での専用通貨。「ヨー」を稼ぐために、仕事をする、もしくは商売をする。仕事をする場合、ハローワークに行つて、仕事を探す。市民センター（受付）、ハローワーク（紹介）、大人センター（クレーム、落とし物対応）、飲食店などがスタートした時からある主な職場。この他こどもたちがアイデアを出し合つて、仕事は増えていき、今では35種類ほどある。働き終わると親方から給料の1000ヨーがもらえる。

商売をする場合、段ボールでお店を作る。段ボールは1枚50ヨーで買

い、屋根があつて倒れないことが条件だ。チェックをしてもらつてOKが出れば、出店許可証がもらえて商売が始められる。売るものは、もう要らなくなったぬいぐるみや、手作りのアクセサリー、ポケモンカードなど。売り物の値段は、自分たちで考えるが、よその店をのぞいて値段を下げたりしていた。

かせいだヨーで買い物をしたり、遊んだり、飲食したり。飲食コーナーでは、タピオカドリンクがあつた。こどもたちの手作りだ。自分たちでどんな飲み物が合うか考え、試飲して、失敗して、成功を見つけ、値段



おとまりこども四日市



グッズもたくさん売れて、みんな大喜び



2026/7/20 プレミア上映会の舞台挨拶

左端の赤い帽子が小林渚氏



2026/7/20のプレミア上映会に向けてオリジナルグッズの準備に励むGold市民たち



小学5年生以上は、Gold市民になることができる。仕事をして親方に推薦してもらい、登録用紙に必要事項を書くと、Gold市民証が発行されるのだ。Gold市民になると、何か良いことがあるんだろうか？ Gold市民は、月一回の会議に出てこども四日市の仕事、商売について話し合う。こども四日市を自分たちでより良い、より面白いものにしてほしいというアイデアを出せる場なのだ。市長もいる。選挙があって、市長を選ぶ。映画では3人が立候補して、立会演説もやっ

Gold市民と市長

をつけていく。スイーツ餃子というのもある。クレープやピザを作りたいが、生地を作るのはちょっと難しい。ではどうしよう。餃子の皮なら代用できるんじゃないか。試してみよう。試食して、おいしかったから売ろう。

銀行もある。ヨーを預けると利子がつく。なぜ、利子がつくのか？まさか、融資して、利子を取っている？いやいやそこはこどもの世界。ヨーを印刷して増やせばいい。インフレの心配は無用です。

を付けていく。スイーツ餃子というのもある。クレープやピザを作りたいが、生地を作るのはちょっと難しい。ではどうしよう。餃子の皮なら代用できるんじゃないか。試してみよう。試食して、おいしかったから売ろう。

ていた。

冒頭の舞台挨拶は、実はこのGold市民のこどもたちだ。当日の観客は大人も含めて160人ほど。マイクをもってしゃべるのは緊張するだろうと思うが、こちらが驚くような素晴らしい弁舌のこどもがいる。もちろん、とつとつとしゃべる子もいるが、全員が自分の言葉で語っていた。

映画の中でも一人のこどもの行動を追っていたが、今から何をしよう、次はどこへ行こうなど、自分で考え、決めていた。何回か経験して慣れていることもあるだろうが、時間とお金(ヨー)の使い方に無駄がない。何より楽しんでいるのがわかる。

このドキュメンタリー映画は、今後、東京、石垣島・湘南、山形などの国際ドキュメンタリー映画祭に挑戦する予定だ。だけど、私としては四日市の人たちにもっと見てほしい。こどもならではの発想、工夫…。試行錯誤して、成功を見つけたときの実感。大人は一步引いて見守らなければならぬ。主役はこどもたちなのだから。

(レポート 石井 亨)

FLASH

四日市素材で 多彩なパン



パン屋Roki(ロキ) 店長
加藤 大裕さん

Roki
四日市市本郷町 1-7 グリーンベル 1F
TEL :059-334-8423
営業時間 7:00 ~ 19:00、日曜休み



かぶせ茶食パンは予約制で販売。味噌パン、梨パンは会えばラッキーな一品。

近鉄川原町の駅前にあるパン屋さん。朝7時から営業する「ロキ」では、四日市の味噌、果物、野菜やかぶせ茶などを使ったパンを続々と発売しています。店長の加藤さんに、思いを聞いてみました。

パン屋になろうと思ったきっかけは？

学生時代に学校を中退して「職人として生きよう」と決心しました。最初に始めたのは瓦職人の見習い。しかし瓦職人は雨になると日給が出ません。そこでパン屋さんのアルバイトも並行することに。よく買いに來るお婆ちゃんに「君がいる時に買いに來るよつにしているんだよ」と言葉を送りました。当時19歳。その言葉に感激してパン一本にしば

り、本格的に修業を始めました。
2017年にロキをオープンしたのですね。

修業先は桑名でしたが、生まれも育ちも四日市なので、四日市で店を開きたいと思っていました。明るい店がいいな、お昼になると小さい子がお母さんと一緒に、ひと休みに入ってくれるような店になりたい。だから当店にはキッズスペースや飲食スペースがあります。

四日市素材を使うようになったきっかけは。

JA みえきたマルシェ「四季菜」を訪れ、話をしてみました。パン作りを通して地元素材と繋がりたいと。当時の店長さんが話を聞いてくれ「では、かぶせ茶で作ってみる？」

と提案してくれました。それ以来、JAさんのご紹介でさまざまな地元食材とコラボしています。例えばナス、ブルーベリー、レタスなど。伊勢蔵さんへは直接行って、蔵を案内してもらえました。

理由はもう一つあります。他県のイベントに出店した時に、四日市のパン屋だとお客様に伝えると「四日市？どこ？」と反応されることもしばしば。そんな経験から、パンを通じて四日市を知って欲しい、覚えて欲しいと思うようになりました。

四日市素材を活かすポイントは？

パン作りには2つの出発があると聞いています。一つは、誰に届けたいか。例えば若い女性へ、お子さまへ、などがあります。もう一つはこの

食材を美味しく食べるにはどう調理するか。野菜だと切る厚みや、煮るか焼くかなど色々試します。四日市素材のパンは後者の考え方です。
今後に対する思いを教えてください。

四日市の小麦農家さんと知り合いになって、小麦を育てるところから一緒にやりたいです。スペルト小麦という古代小麦があることを知り、栽培している滋賀の農家さんに会いに行つたんです。食べてみると小麦の味がすごい。その農家さんから種^{たね}粉を分けてもらう所までいけたのですが、それを育てる技術が僕にない…。小麦も地産地消できたら皆きつと嬉しいよね、と思っています。

(レポート 中村 智恵子)

土壁アーティスト

松木 一真さん

1992年1月生まれ。鈴鹿市出身。蒼築舎では専務取締役を務める。2011年、12年の技能五輪全国大会で銅賞、18年には県競技大会一級左官の部で知事賞。22年にLondon Craft Week 出展、23年からは台湾の金門島で伝統的な左官技術の指導に従事している。



滝音：琉球藍・白土

層：日本の色土

官舎社に就職し、5年間の修行を積みました。その後、家業の蒼築舎に戻り、伝統的な土壁の仕事を始めました。

父であり、社長でもある松木憲司さんは、国内外で活躍する左官職人です。偉大な父の前に葛藤を抱えながらも、土壁に対する思いは親子に共通しています。

現在、蒼築舎の仕事を担う大きな責務は二代目となる松木さんに託されています。仕事を終えた夜には、土壁アートの制作に取り組みます。松木さんにとって、左官の仕事とアート作品の制作に境界線はありません。そして「完璧なものを納品することが使命」と語ります。

父であり、社長でもある松木憲司さんは、国内外で活躍する左官職人です。偉大な父の前に葛藤を抱えながらも、土壁に対する思いは親子に共通しています。

古くから受け継がれてきた土壁だからこそ美しい。そんな美学も、二人に共通する思いです。

現在、蒼築舎の仕事を担う大きな責務は二代目となる松木さんに託されています。仕事を終えた夜には、土壁アートの制作に取り組みます。松木さんにとって、左官の仕事とアート作品の制作に境界線はありません。そして「完璧なものを納品することが使命」と語ります。

土、砂、藁などを調合する土壁は繊細で、その日の温度や湿度によって風合いや肌が微妙に変化します。

取材時に松木さんの繊細でダイナミックな作品を見せていただき、リニューアルする文化会館や新図書館、現存する市の文化施設に氏の土壁アートの作品をモニュメントとして口ビーなどに飾ることで、多くの市民に日本古来の伝統美の魅力を発信していけるのではないかと感じました。

(レポート 森次男)

蒼築舎株式会社

住所 四日市市浜一色町一六二五

電話 〇五九一三三二一 四四四

FAX 〇五九一三四四二 六二七

松木一真さんは、蒼築舎の二代目です。土壁に新たな命を吹き込む左官職人であり、土壁アーティストとして国内外でも活躍されています。伝統の技を受け継ぎながら、土という自然素材の魅力を現代の感性で表現し、多くの人を魅了しています。そして「伝統を未来につなぐ」という考えを大切にされています。今回、土壁にこめた思いや創作への情熱、未来へ伝えたい左官文化などについて伺いました。

の終わる頃、高校進学について考えていた際、漠然と家業を継ぐことを自らの宿命と感じ、四日市工業高校建築科に進学しました。高校三年生になると、家業を継ぐことを決心します。

卒業を前に、新潟県魚沼市に左官技術を学べる職業訓練所があることを自ら探し出し、アパートで暮らしながら1年間、左官の技術を学びました。そこを選んだ理由は、技能五輪の日本代表を育てた指導者がいたからです。

松木さんは中学三年生の夏休み



谷川氏がこやかにお辞儀をし、漫才のようなテンポで話が進む。

まず昭和39年のアーケード竣工式の写真を見ながら、角にあった美容室、戦後のバラック建物の火事、関西電波、大坂屋、草野洋服店など、当時の商店街の記憶を次々と語る。

その後、現在の商店街に移動し、長谷川氏が神主の真似をして竣工式を再現する場面もあり、諏訪百貨店や諏訪劇場が存在した頃の賑わいを振り返る。さらに、辻写真館跡の写真に写る倒れたクレーンのような物体

を見て、アーケード建設時の混乱を思い出し、「昔はめちゃくちゃやね」と笑いながらも、皆で力を合わせて商店街を作った時代だったと語る。



四日市商店連合会の YouTube ②

続・一番街は こうしてできた！

商店連合会会長・副会長が語る

森氏が「もう60年経ったんやね」とつぶやき、戦後の雑踏の中で盛り場が形成され、公園周辺に屋台が並び、人が集まりやすい諏訪の土地柄が飲み屋街や赤線地帯の形成につながったと回想する。

商店街の大きな転機として、昭和31年の近鉄四日市駅の開業が挙げられる。三泗百貨店の写真を見ながら、

駅前には商店が集まり、線路跡が人の通り道となり、一番街成立の要因になったと分析する。続いて、四日市出身の作家・丹羽文雄が昭和7年に家出をした頃の様子と、昭和32年頃の駅前70メートル道路が整備された頃の様子を比べ、25年間の街の変化、そしてこれからの変化を「新日本拝見」の記事を読みながら語る。最後に、四日市は市場と港、そして鉄道が結びついて発展した街であると締めくくられる。ぜひ今回の動画も、見ていただきたいと思う。

(レポート 伊藤 順子)



「えー皆様、ようこそご覧いただきますまして、本当にありがとうございます」と水谷副会長が勢よく話し始めると、「ありがとうございます」と、こやかにお辞儀をする森会長と長谷川副会長。「いよいよ皆様のご期待の一番街にやってきましたいまして」と水谷さんが言えば、「一番街突入です！」と、森さんが相槌を打つ。

こんな風に、四日市商店街連合会のYouTube動画「続・一番街はこうしてできた！」では、森会長、水谷副会長、長谷川副会長の3名が、四日市一番街商店街の成り立ちと発展を軽妙な掛け合いで語っている。

商店街を背景に並ぶ3人は、水谷氏の勢いある挨拶に続き、森氏と長



経ったんやね」とつぶやき、戦後の雑踏の中で盛り場が形成され、公園周辺に屋台が並び、人が集まりやすい諏訪の土地柄が飲み屋街や赤線地帯の形成につながったと回想する。



江戸時代後期、幕府領ではなく和州郡山領だった頃の四日市は儒学を始めとする学問が盛んな雰囲気がありました。その中心には郡山藩士の城戸月庵や杉山重水、さらには有力町人らも加わっていました。そしてその盛り上がりは十八世紀末から十九世紀前半にあったように感じます。今回は昨年の「むだばな誌②」の四日市の文化人の続きのお話です。

四日市の学芸興隆に力のあった城戸月庵（一七四四～九九）、杉山重水（一七五三～一八〇七）、西村馬曹（一七四五～一八〇〇）らが没した後、その遺風を残そうとした人の一人に原文甫（諱は淵、字は潜玉または文甫、号は廻斎、一七八四～一八三七）がいました。

文甫の本業は医者ですが、多彩な趣味人として『改正泗水郷友録』（一八〇七～〇八年頃成立）の詩文・書家・生花・洒落の項目に名を連ねています。

文甫は伊勢国鈴鹿郡小岐須村の医者、原定勝の子として育てられました。定勝には子がいなかったため、実兄の子を養子にしたのです。文甫

の戒名の岐山居士はその出身地を表しています。養父の跡を継ぎ医者となり、北勢では右に出る者がいないほどの名医となりました。彼は十九歳の時、漢詩人の菊池五山（一七六九～一八四九）のもとで漢詩を学び始めました。

菊池五山は江戸にあつて漢詩や詩評に優れ、彼の出版する『五山堂詩話』に掲載されることは当時の漢詩人らの憧れとなるほど人気を誇りました。その五山は、青年時代の一時期を四日市で過ごしており、その際に大いに世話になったのが四日市の伊達家でした。文甫は五山が四日市にいたこの時期に入門したのです。

ちなみに文藝春秋社を創立した菊池寛は、五山の傍系の子孫に当たります。

文甫の事績はほとんど知られていませんが、諏訪神社宮司生川鐵忠（一八五三～一九一七）が出版した『蘋藻集』（一八九三年刊）が、彼の事績を今に伝えています。

この本は文甫の五十年祭と諏訪文庫の修復を記念して出版されたもので、このなかに文甫が諏訪神社境内に諏訪文庫を建て、文宣王の像を祀

り、経史百家の書を講じていたと記されているのです。経史百家の書とは中国の四書五経を始めとする古典（文学を除く）の総称です。

文庫内に祀られた文宣王とは孔子のこと、この孔子像が文甫によって諏訪神社に奉納されたのが天保三（一八三二）年三月のことであると、三重県神社庁所蔵の記録（明治十二（一八七九）年「神社宝物古文書目録」、同二十九年「第一種古社調書四日市ノ分」に残されています）。

孔子は儒学の祖で、儒学の別名を孔子の生まれ故郷を流れる川、泗水にちなんで「泗水の学」と言います。さらに四日市を美称して泗水とする



『蘋藻集』所収の諏訪文庫図（国立国会図書館ウェブサイトより）



諏訪神社に奉納された孔子像（昭和五年版「四日市市史」所収）

のも江戸時代後期の十八世紀末に城戸月庵によつて始められたようです。

文甫はこうした四日市の学芸を伝えるため、医業のかたわら、経史百家の書をどこか（あるいは自宅）で講じていたのでしょう。そして老年となり、将来を案じて諏訪神社に孔子像を奉納し、学問を学ぶ場として諏訪文庫を創建したのではないでしょう。か。天保三年に文庫が完成してから、文甫は亡くなるまでのおおよそ五年間、この場所で経史百家の書を講じたのでした。

諏訪文庫は諏訪神社境内にある山津見神社の南にあつたようですが、残念なことに太平洋戦争末期の昭和二十年六月十八日の空襲により焼失してしまいました。文庫のなかには多くの漢籍や古典籍、歴史資料が保管されていたと伝えられています。

杖衝坂石碑の裏に埋もれた石

吉川 宗明

うつべ町かど博物館(采女町)の有竹正雄氏から、杖衝坂に半ば土に埋もれた状態の石があるので一度見てほしいとお誘いいただいた。

今年四月に、有竹氏のご案内で現地を確認した。「史蹟杖衝坂」の石碑の裏に隠れるように一個の岩

石がある(写真1の赤丸内)。やや斜めに傾いているが、立石状に自立している。正面側の石肌は平たい面が広がるようにみえるが、実際には表面は凸凹しており不整形である(写真2)。ただの自然石かと思いきや、正面向かって右側面



写真1

写真2

写真3

だけに字が刻まれている(写真3)。

刻字はすでに有竹氏が四日市市立博物館の学芸員の方に調査依頼済みであり、「亥之四月十日為往生願主久蔵」と刻まれている。字体から江戸時代の製作と推定され、往生の字があることからここで亡くなった誰かを供養するための石ではないかとの学芸員所見をいただいている。この辺りの調査仔細は、うつべ町かど博物館ホームページ(<https://sites.google.com/view/machikado/>)の「まちかどミニ情報」二〇二四年九月十二日の記事にまとめられている。

岩石信仰・自然石文化の観点から注目すると、この岩石の特徴は次の点にある。

一、慰霊碑であるが人工的に整形されておらず、自然石の形状を利用したものである。

二、岩石の正面に当たる石肌には何も刻まず、側面のみに字を刻む。三、刻字の情報量が少ない。肝心の故人の名が刻まれておらず、祈願年も十干が略されて十二支のみの亥年ということしかわからない。

ここは東海道の杖衝坂に当たることから、旅人が行き倒れになっ

たら名も知れぬまま弔うこととなる。突発的な出来事に急ごしらえで用意した結果が自然石であり、無名の旅人であればあまり大っぴらにする性格の慰霊碑でもないの

で刻字も最低限となる。その点においてこのような形態の慰霊碑となったことは肯ける。

ただし、この自然石は多角的な断面や凹凸を有しながらも全体として立石の景をなし、見る角度によつて印象の異なる抽象性をもつ。時と場によつては庭石や山水景石としてあつてもおかしくない。周囲をよく見ると、史蹟碑の石垣とは別で周囲にも大小の不整形の自然石が散在している。慰霊碑として用いられる前の歴史が気になる

ところではある。

現在は横に立つ「史蹟杖衝坂」石碑の添え物のような佇まいだが、この史蹟碑は昭和四年の建立であり、先後関係でいうと杖衝坂にあったのは史蹟碑よりも今回の慰霊碑である。史蹟碑の建立に伴って場所が移された可能性も否定できないが、杖衝坂の「等地」に立つ文化財と言える。



パッションひろば



「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば

(一社) 四日市市文化協会文化活動功労賞

四日市アート展 2026 を終えて

～オーケストラとバレエの饗宴～ くるみ割り人形 (全二幕)

第76回 四日市市市民芸術文化祭

この人を知る

文芸ひろば

連句

寛延三年(一七五〇)刊誹諧「武玉川」初編を読む

「武玉川」は前に紹介した「柳多留」と違って連句の付句の面白い作品を集めた句集である。だから五七五ばかりでなく七七もある。

納豆に抱れて寐たる梅の花

正月飾り用に梅を早く咲かせる。そのために翹室など暖かい所に入れる。そこに発酵させるために納豆も置いてあったのだろう。

祭が済んでもとの明店

七七の句。祭りの間は通りに面した空家は格好の溜まり場。酒樽などが並べてあったのだろう。

取付安い顔へ相談

取付は取りつき。誰しも覚えがあるだろう。

丈いくらべ手を和らかに提て居

丈いは背。提て居は提げている。子どもたちだろうか。

低く言高く笑ハおもしろき

低く言い高く笑えば、と読む。

鳶までハ見る浪人の夢

一富士二鷹三茄子というが、浪人の夢はせいぜい鳶までだと言つ。

羽衣を鮮い手で皺にする

鮮いは生臭い。能の「羽衣」。三保松原で漁夫白竜が天女の羽衣見つける。漁夫だから手が生臭いのである。

一日の機嫌も帯のメヅころ

近頃は和服姿をあまり見かけなくなつたが、着物を愛用されている方にはよくお解りだろう。

今出た海士のあらいい鼻息

鮑か米螺などを獲つて海面に浮かび出た海女が海士である。

三人寄れば毒なタぐれ

今なら差し詰めネオンの巷へ遊びに行く相談である。

捨ものにして抱ついて見る

当たつて砕ける、である。吉と出るか凶と出るか。

住居の知恵は越てから出

越ては越して。筆者にも昔、建て売りを買った時の苦い経験がある。

ひよんな字を問て家内にうたがわれ

どんな字を奥さんにきいたのだろう。浮気を疑われ?

捨物にして遣る文に花が咲

これも前の「抱きついて見る」と同じ。一か八かで出した付け文に色良い返事が返つてきた。

小松曳あぶない所で手を握り

「万葉集」の天武天皇と額田王の相聞歌を思わせる。「あかねさす紫野ゆき標野ゆき」である。こちらは「君が袖振る」だが。

下戸独恋の証拠に頼れる

下戸独は下戸ひとり。頼れるは頼られる。酔っ払いは宛にならない。

牛一つ花野、中の沖の石

花野は秋の七草の咲き乱れる野原。その中に寝そべつた牛がゆつりと反芻している。「沖の石」の見立てがうまい。

入歯のぐハひかみしめて見る

ぐハひは具合。これはお年を召せば誰しも実感するところ。寐て出る知恵に世も捨り行

捨りは廃り。何処かのバカ殿様である。現代でも経営者が経営トップにそんなのがよくいる。

初鯉死だ隣でそつと呼ぶ

死だは死んだ。初鯉は女房を質に入れても食え、と江戸っ子は言った。お隣は葬式だというのに。(洒落会 西田青沙)

令和8年5月23日

令和7年度

一般社団法人 四日市市文化協会文化活動功労賞



左より四日市シニアハーモニー、杉本凱司、笹原久子（敬称略）

一般社団法人四日市市文化協会
会員顕彰に基づき、令和7年度の
文化活動功労賞 受賞者を決定
いたしました。
ここに受賞者のプロフィールを
ご紹介いたします。

（順不同）

四日市（よっかいち）シニアハーモニー 〈合唱部門〉

熟年大学13期卒業生を母体に1994年発足し、毎年、四日市市民芸術文化祭、みえ高齢者健康文化祭、こうべ長寿祭全国シルバー合唱コンクールへ参加。民話を題材にした「大入道ものがたり」を初演。活動を通して合唱の楽しさを広く市民に伝えてこられた。

杉本 凱司（すぎもと としし） 〈生活文化部門〉

長年にわたり、四日市市文化協会の部門運営委員を務め、四日市アート展では発足当時から毎回独創的な作品を出品されてきた。

地道な努力による作品づくりを通して、盆栽会にさまざまな刺激を与えてこられ、四日市市の文化発展に多大なる寄与をされてきた。

笹原 久子（ささはら ひさこ） 〈趣味教養部門〉

1986年深雪アートフラワー師範取得。四日市近郊で教室を開講し、アートフラワーの魅力を多くの市民に広めてきた。「アート展」「生活文化・趣味の作品展」で毎年出品されてきた。また、四日市市文化協会のサポーター長を長年務め、多くの文化事業を縁の下から支えてこられた。

四日市市文化協会様 御用達 パネル用 “紙看板”
フルカラーインクジェット大判プリント

840x1600mm 5,500円～

耐久クロス地、ターポリン地 他取扱い

☎ (059) 353-3885

企業のイメージアップサポーター

株式会社 紺文デザイン

〒510-0075 四日市市安島2-4-14

<http://www.konbun-d.com>

E-Mail info@konbun-d.com

令和8年6月13日・14日

四日市アート展2026を終えて

南川 朋宣



今年の四日市アート展は四日市市文化会館改修工事に伴い、6月13日、14日の両日、三浜文化会館にて開催いたしました。三浜では初めての試みで備品の準備など不慣れな場面もありましたが、展示

スペースが小さい分、スムーズに搬入、飾り付けが出来ました。限られたスペースで実行委員だけの作品を展示したのですが、想像以上に素晴らしい展示空間となりました。来場者も

通年よりも少なかったのですが、ご満足いただける展覧会になったと思います。今回は各ジャンルの代表者によるワークショップに力を入れました。もちろん、私自身も生徒として、ワー

クショップにいくつか参加し、とても、楽しく有意義な時間を過ごせました。毎年、準備等に追われて、展覧会を楽しむ余裕が持てませんでした。ワークショップに自ら参加することで、他ジャンルのアートを体験し、実感したことで、実行委員同士の交流が大変、深まったと感じます。

私は華道の嵯峨御流の今村さんにお花を教えていただいたのですが、伝統的な型の様子を体験し、とても興味深く、受講することができました。また、書の花井さんの書道を体験し、楷書、仮名の歴史を学び、文字の歴史の奥深さを感じた次第です。

来年は四日市市文化会館で開催いたします。より多くの人に楽しんでいただけるように実行委員で力を合わせ、四日市アート展を盛り上げていきたいと思っております。どうぞ、今後ともよろしくお願いたします。

令和8年11月3日

オーケストラとバレエの饗宴

くるみ割り人形（全三幕）

令和8年11月3日（火・祝）に

四日市市文化会館第1ホールにて、第76回四日市市民芸術文化祭特別企画として、四日市市文化協会洋舞部門に所属する7つのバレエスタジオと四日市交響楽団との共演による「くるみ割り人形（全二幕）」を上演いたします。

出演するバレエ団体は、石井アカデミー・ド・バレエ、小原芳美バレエスタジオ、CJG Ballet Studio、バレエ・アカデミー



RELEVÉ、BALLET STUDIO E、茉莉奈バレエスクール、ゆうこ♡バレエスタジオ（50音順）。合唱には四日市青少年少女合唱団。

特別ゲストとして、新国立劇場バレエ団のプリンシパル米沢唯さんと同プリンシパル速水涉悟さんを迎えます。新国立劇場バレエ団は昨年、イギリスのロイヤルオペラにて「ジゼル全幕」を上演しており、米沢さんはタイトルロールのジゼルを演じられ、絶賛を博しております。

お二人には、クライマックスの金平糖の精と王子によるグランパドドゥを演じていただきます。指揮者には同

じく新国立劇場バレエ団副指揮者である木村康人氏。同氏は四日市出身でもあります。他にも元新国立劇場バレエ団プリンシパルのマイン・トレウバエフ氏をはじめ、8人の男性ゲストが出演します。

出演するダンサーたちは、小学生から成人まで120名以上。4月5日のオーディションを受け、年齢や技量に応じて配役が決まり、それぞれのパートに分かれて振付が始まりました。演出・振付を担当するのは陳建国さんと張曉萌さん。複数の団体ですから、一度に集まる日は限られているので、効率的に迅速に進められていきました。それでも長い時は午後2時から夜9時近くまでかかり、各団体の指導者もサポートに回り、力を合わせて作品を作り上げてきました。

四日市交響楽団も春から練習に入り、7月には木村氏が四日市へいらして、練習は佳境に入ってきました。9月からは、踊り手と交響楽団の合同稽古が始まります。四日市のバレエスタジオと四日市交響楽団が、力を合わせて作り上げる「くるみ割り人形」をぜひご堪能下さい。

2026年11月3日（火・祝）開演 17:45（開場 17:00）

四日市市文化会館 第1ホール

全席指定 S席:5,000円 A席:4,000円 B席:3,000円

※当日券は+500円（前売チケットが完売の場合、当日券はございません）

※満3歳より入場いただけます。

チケット取扱 四日市市文化会館
チケットびあ（Pコード:540943）

お問い合わせ (株)マネージメント・プロ TEL:052-508-5095
（平日 10:00～18:00）



第76回 四日市市民芸術文化祭

(令和8年度)

主催：四日市市 一般社団法人 四日市市文化協会

令和8年9月10日現在

開催日		催 名	会 場
10月	4 日	邦楽まつり	第2ホール
	17 土・18 日	生活文化・趣味の作品展	第1 (AB)・3・4展示室
	24 土・25 日	見て体験する美術展	第1展示室 (ABCD)
11月	3 火祝	四日市短詩型文学祭	第3ホール 第1・2・3会議室 和室
	3 火祝	四日市市民バレエ 「くるみ割り人形」全幕	第1ホール
	13 金～15 日	総合美術展	第1・3・4展示室
	15 日	四日市の第九	第1ホール
	15 日	四日市王位戦将棋大会	第3ホール
	23 月祝	合唱祭	第1ホール
	27 金～29 日	自然と暮らしの写真展	第3展示室
12月	20 日	クリスマス茶会	泗翠庵
1月	11 月祝	四日市ほのぼの公募ステージ発表会	第2ホール
2月	7 日	四日市市民囲碁大会	第3ホール
	28 日	キッズ・ドリーム・コンサート ～第37回記念「年にいちどのこんさーと」～	第1ホール
3月	20 土・21 日	第39回 春の文化祭	あさけプラザ
	21 日	スプリング コラボレーション	第2ホール

今後の情勢の変化により中止になる催物もございます。開催情報は四日市市文化協会ホームページをごらんください(四日市市文化協会 で検索)。
お問い合わせは、催し別担当者が四日市市文化協会・・・TEL・FAX：059-347-1023(日・月・水・木・金の13～17時)

賛助会員 (五十音順・敬称略)

法人会員

北伊勢上野信用金庫 (公社) セントラル愛知交響楽団
(株) 紺文デザイン (学法) 富田文化学園
茶道具 山水園 日本トランスシティ (株)
(株) シー・ティー・ワイ 樋口幸美箏スタジオ
昭永工業株式会社 邦楽アンサンブル「のぞみ」箏ジュニア合奏団

三重四日市盆栽会
水九印刷 (株)
四日市茶道教授者連盟
(株) リフォックス
(株) レイ・ステージ桑名

個人会員

石田 成生
一見 政幸
伊藤 洋史
田中 徹
田中 俊行
樋口 博己

文化協会活動にご理解とご支援をいただいている皆様です。

この人を知る

第18回

映画は観るだけでは終わらない。そう語るのは、映画への尽きない愛情を胸に10年間にわたって映画同人誌『シネマ游人』を発行し続けている林さんです。作品への深い考察や映画人への取材も通して、自らの言葉で映画の魅力を伝え続けてきました。その情熱は何なのか、同人誌にこめた思いと、映画とともに歩んだ10年のあゆみを伺いました。

・人生で一番影響を受けた映画は

半世紀ほど前になるだろうか。古びた公民館のホール。そこで観た『八月の濡れた砂』（1971、藤田敏八）。場内は超満員で立見席だった。この映画を観て、私は体が小刻みに震えるショックを受けた。当時、私は大江健三郎やシエイクスピア演劇にハマり、頭でつかちで抜き差しならぬ力キだった。話し相手もいなかった。スクリーンでは、夏のグラグラ照り



シネマ游人代表

林 久登さん

1943年 旧満州国牡丹江生まれ
1962年 県立津工業高校卒業
2009年 「藤田敏八小伝」四日市文芸賞受賞
2016年 映画同人誌「シネマ游人」創刊

とって分身のようなもので、時には共犯者であり、時には反面教師でもあった。

・同人誌だからこそ書けることは何か

どんなことであらうか、誰にも（監督、俳優、評論家等）忖度することなく自由に書けること。映画とは「脚本家が狙ったものを、監督が勘違いして演出し、それを役者が自らの感性で演じる。そして観客は自分の世界に引き込んで受け止める」と誰かが言っていた。つまり映画とは誤解を重ねたうえで成り立っていると言ったのだ。映画好きが集まり、そんな映画を観て誌面で喧々諤々やり合つことは、きつと予期せぬ化学反応を起こして面白いに違いない、と確信。

・創刊当時、どんな思いで第一号を作ったか

三重県には、文芸に関する同人誌は多く出ているが、映画に関するものは見当たらない。そこで、藤田敏八の出身地（馳出町）でもある四日市より手を挙げようと決意。出す以上は何処に出しても恥ずかしくない硬軟併せ持つ（ボルノ・硬派）オリジナルな映画同人誌を作ろうということになった。爾来、早や10年が経ち、シネマ游人の次号は21号となった。

（レポート 森次男）



つける海辺のもとで、潮騒の音に混じって女たちの嬌声が聞こえる。皆、自由気ままに生を謳歌している。中でも若者たちの傍若無人の振る舞いが目につく。彼らは理屈ではなく皮膚感覚で行動する人種だ。私の知らないところで何と面白い世界が広がっているのだろう。「お前は何かをしているのだ。もっと殻を破つていいのだ」そんな気持ちにさせてくれた。田舎で刺激のない青春を過ごしていた私に

とってこの映画から受けた影響はメチャクチャ大きかった。そして気が付いた時には、自尊心はもろくも崩れ、いつの間にか不真面目な大人になっていた。

・映画とは何だ！

私たちは当然のことだが一つの生き方しか選択できない。しかし、映画の世界は違う。一旦暗闇の世界に入れば、様々な人生を疑似体験できる。こんな贅沢な遊びはない。私の好きだった映画監督の黒木和雄はこう言っている。「映画は全部妄想なんだが、人生を丸ごと写してくれる素晴らしい玩具（ツール）だ」まさにその通り、映画は私に

第76回 四日市市民芸術文化祭「四日市の第九」

開催日 2026年 11月 15日(日)

会 場：四日市市文化会館 第1ホール 開演：16:30（開場：15:30）

管弦楽：中部フィルハーモニー交響楽団 指揮：井村 誠貴

ソプラノ：伊藤 晴 メゾソプラノ：相可 佐代子 テノール：中井 亮一 バリトン：森 寿美
お問合せ 070-4317-9643（細谷）

元気な四日市が好き！！

四日市市文化協会入会のご案内



四日市市文化協会は

- ・四日市市民芸術文化祭を企画、運営します。
- ・文化団体の育成、支援をします。
- ・子どもの文化活動を支援します。
- ・文化情報誌『パッション』を発行します。
- ・他市町文化団体との文化交流をします。
- ・催し物のサポートをします。

年会費

正会員（個人） 2,000 円／人

正会員（団体） 会費は構成人数により異なります。

構成人数	1～3人	4～10人	11～20人	21～30人
金 額	2,000 円	7,000 円	10,000 円	12,000 円

構成人数	31～40人	41～50人	51～100人	101人以上
金 額	15,000 円	18,000 円	25,000 円	30,000 円

但し、中学生以下は金額計算には入れません。

賛助会員（個人） 5,000 円／一口

賛助会員（法人） 10,000 円／一口

- ・入会は随時できます。
- ・詳細は事務局までお問い合わせください。

「ぶんきょうだより」のご案内

パソコン、スマートフォンから「CTY コネクト」アプリをダウンロードして「北勢情報トライフル」を探してみてください。

文化協会からのお知らせ「ぶんきょうだより」を24時間いつでも視聴できます！

※アプリの利用料は無料ですが、ダウンロードやご利用時にかかるパケット通信料はお客さまのご負担となります。※アプリのダウンロードには通信費がかかる場合があります。
※ Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。※ Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。



ここから
視聴できます

アプリのダウンロードはこちらから



理事長つばき

水谷 達

国際情勢や環境問題、人権問題などの社会課題に比べて、文化継承のことがあまり取り上げられることはありません。これが私たちの暮らしに直結していない、命につながることはないと思う人が多いからではないでしょうか。昨今、少子化や人口減少等、地方が抱える課題は深刻な状況にあります。文化継承も同様です。文化芸術が衰退消失することは、地域コミュニティやアイデンティティがなくなることにつながり、地域資源のない無個性な街になってしまいます。

私たちの事業の柱となる四日市市民芸術文化祭は昭和二十六年に中部小学校講堂で第一回が開催されたとのことで、NHK紅白歌合戦と同じ長い歴史をもっています。言い換えれば、長年にわたって四日市の文化振興に寄する個人や団体が数多く活動していることを物語っていると思います。

現在、私たちの文化活動を支えていただける賛助会員様を広く募っておりますので、事務局までお気軽にお問合せください。

不易流行 蔵町と納屋町

蔵も納屋も、普通名詞としては共に荷物を保管しておく施設を言うが、町名となるといささか意味合いが違って来る。

江戸時代の税、年貢は標準的には五公五民と言って、米の収穫高の五割を領主に納め、残りの五割を村方に留めた。この領主の米の保管場所が蔵、村方のそれが納屋で、その米をそれぞれ蔵米、納屋米と呼んだ。

この蔵米、納屋米ともに、諸費用を賄う為に売却して現金化しなければならぬ。そして大量の米を一度に売捌くためには、幕府公認の米市場がある大阪へ回漕する必要があった。その為には四日市湊へ搬出(津出しという)して船便を待つ、その為の集積場所として蔵と納屋を設けた。それが今の蔵町と納屋町の由来である。

地図を見るまでもなく、蔵町より納屋町の方が何倍も広い。それは、納屋町では、納屋米ばかりか土地で生産された商品作物、例えば干鰯、菜種や菜種油、綿花や綿織物、茶、酒、味噌醤油、素麺など多彩な作物が集められ、船積みされていたからである。その機能としては、現代の四日市港にある上屋と、規模の大小はあるが、全く同じであったと言える。(西田青沙)

編集後記

●大四日市まつりが終わった。祭りの語源は神を祀ることにあり、起源には豊穰を願う感謝する農耕祭事、疫病や災害を鎮める御霊会、民間信仰と結びついた季節の祭などがあるという。神輿は神様の乗り物だが、山車は神様を招いたり先導したりする役目を担うらしい。では、四日市の大入道や亀割、菅公、岩戸山、鯨船はどちらの役目なのだろう。山車を引ながら考え、休憩時にはビールを飲んで考えたが、結論は出ない。きつと暑さのせいだ。(順)

●富田音頭とその普及に取り組む里寿会様を取材しました。まさに愛される歌には、音頭のほか、小中学校の校歌が挙げられます。私の通っていた小学校の校歌は歌詞がかなり難解で、訳も分からず歌っていたことをここに白状します。廃校してしまつたので、あの校歌が歌い継がれていくことはもうありません……新設された小学校の校歌はどんなものだろうと聴いてみれば、どことなく昭和の青春ドラマを感じさせる歌でした。うーむ。(純)

●今号は土壁アーティストの松木一真さんを取材させていただいた。私の中で土壁アートといえば、エニタ大河ドラマ『真田丸』のタイトルバックが印象に残っている。松木さんの作品はどれも繊細でありながらダイナミックでインパクトがある。事務所の壁もすべて松木さんの作品だ。昔の住宅に多く使われていた土壁。ユニット式住宅が増えた今、日本の伝統美である土壁の魅力を改めて感じる取材となった。(森)

パッション 79号

●発行 令和8年9月15日

●発行人 水谷 達

●編集 パッション編集部

森 次男(編集長)・石井 亨・伊藤 順子
中村 智恵子・畑中 純一・吉川 秀道
西田 青沙(オブザーバー)

●発行所 一般社団法人 四日市市文化協会
〒510-0845 四日市市海山道町1-1532-1
四日市市三浜文化会館内
TEL・FAX 059-347-1023

●デザイン・レイアウト・DTP 高田 敦

●印刷所 水九印刷株式会社

文化情報誌『パッション』に広告を出しませんか

文化情報誌『パッション』は「より充実した情報誌」を目指し、3月と9月の年2回発行しております。市内各文化施設、各地区市民センター、北勢地域の各文化協会、当文化協会会員に配布しております。70号からは全ページカラーとなり、より見やすく伝わる誌面となりました。ぜひこの機会にご検討ください。

	サイズ	年間契約額(1回契約額)
① ページ全面	18 cm×23 cm	50,000 円(25,000 円)
② ページ半面	17 cm×11 cm	25,000 円(12,500 円)
③ 記事下1/4	17 cm×5 cm	12,000 円(6,000 円)

お問合せとお申込み (一社)四日市市文化協会

四日市市海山道町一丁目 1532-1 四日市市三浜文化会館内

電話・FAX: 059-347-1023

メール: ybk@yokkaichishibunkakyoukai.com

想学館 3つの特徴



プロ講師による (徹底)指導

20年以上の指導経験を持つ
プロによる徹底指導。
受験から進路指導まで安心して
おまかせください。



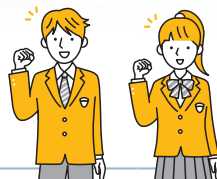
動画&個別指導で 「理解」から 「やる気」へ

オリジナル授業動画と
個別指導で
弱点を徹底的につぶします。



こまめなチェックで 理解度を 「見える化」

チェックテストを繰り返し実施し
進捗度をつぶさに把握。
ウィークポイントを
自覚させることで
本人のやる気をアップさせます。



想学館の指導システム

- 学校カリキュラムとの連動
定期テストとの連動で学校の授業を最大限に
活かします。
- フレックス制導入
クラブ等を考慮して無理のない受講時間を設定
します。

家計にやさしい安心の金額

月謝・教材費・ゼネラル模試代のみで追加負担は
ありません。

中3 スケジュール

受験対策

春 期 講 習 … 中1中2の総復習
夏 期 講 習 … 受験勉強の基礎固め
受験対策特別講座 … 3年間の総復習

冬 期 講 習 … 私立高校入試対策
直 前 集 中 講 座 … 公立高校入試対策

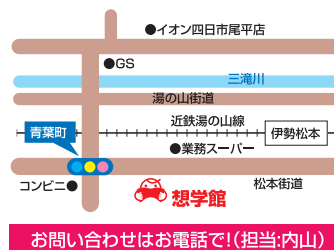
入 試

定期テスト対策

■1学期
中間試験対策講座 期末試験対策講座
■2学期
中間試験対策講座 期末試験対策講座
■3学期
期末試験対策講座



四日市市青葉町800-8-1
TEL 059-358-7735
FAX 059-358-7953
<https://sougakukan.com/>
info@sougakukan.com



水九印刷は「印刷」という情報伝達サービスを核に、あらゆるお客様のニーズにお応えするため

「より深く考え、より早く行動」をスローガンにかけ、

社員一人ひとりが120%の能力を発揮し、新しい事にチャレンジしながら
常に成長を続けていく企業を目指しています。



地域と共に150年。

創業1875年(明治8年)を経て私達は常に革新し続けます。



水九印刷株式会社

TEL 059-332-6600

お気軽にお電話ください
FAX 059-332-6688

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-147 水九印刷 検索 <https://www.mizuku.co.jp>



無料

CTY

便利なアプリ CTYコネクト

まずはコネクトアプリを
今すぐ
ダウンロード!



ID登録
はこちら
から!



コネクトテレビ・ビデオ
地域のことが分かる!
コミュニティチャンネルで放送した番組の
見逃し配信や地域のイベントをLive配信!

**N ケーブル
News**

「ケーブルNews」
北勢地域のニュース、気象、
防災情報などをお伝えします。
もちろん地上12chでも! | 月～金 18:00～放送!



My CTY

ID登録をしてもっと便利に!
今すぐ登録して
ぜひご活用ください!

**プレゼント
応募**

My CTYからだけ
応募できるプレゼント
企画もお楽しみに!

**ご利用料金
の確認**

My CTYから月々のご
利用料金がカンタンに
チェックできます!

お手元でこんなことも!

- ご契約内容の確認
- お問い合わせ
- サービスのお申し込み※1



情報カメラ

エリア内に設置した「情報カメラ」で
集中豪雨時の河川や道路の状況
変化をチェック! ID登録すれば動画
でご覧いただけます。

道路の様子をみる



国道306号(四日市市水沢町)



中央通り(四日市市諏訪栄町)

河川の様子をみる



天白川(四日市市日永)



鹿化川(四日市市新正 四日市庁舎前)

※1 一部サービスを除きます ※アプリのダウンロード・動画視聴には通信費がかかる場合がございます。 ※アプリ・My CTYの仕様は変更になる場合がございます。

CTY FM 76.8 MHz

イザ!という時の
ラジオ局



Evening Wave 生放送

月曜日～金曜日 16:00～18:49

あなたが知りたい地元の情報満載の3時間。
1日の疲れを素敵なおしゃべりと音楽で癒やします。



笠井 久未



熊谷 よう子



藤田 綾乃



まこ



大場 由香

こちら北勢よろづ研究所 生放送

金曜日 12:00～13:59

“地元は知れば知るほどおもしろい”をコンセ
プトに掲げ、徹底的に“地元”に拘って上下左
右いろんな角度から研究する番組♪三重県北
勢地域の地元に関するあらゆるモノ・コトにつ
いて、広く、深く、そして浅く考えます。

毎月第2・4金曜日はテレビとコラボレーション!
地上12chでお楽しみいただけます!

※予告なく変更する場合があります。



所長
第2・4週目
山本 浩之



見習い研究員
第1・3週目
コータロー



災害への備えとして、アプリをダウンロード!

公式アプリを使えば雑音も無く快適にラジオをお聴きいただけます♪
災害時には防災ラジオとして緊急情報などを随時放送。災害への備えとして、
今すぐダウンロード!



「FMプラプラ」アプリを
ダウンロードして
いただき、
CTY-FMを選局して
ください!

※アプリのダウンロードには通信費がかかる場合がございます。



株式会社シー・ティー・ワイ
0120-30-6500 電話 9:00～17:00(月～土 祝日を除く)
※変更となる場合があります。